

食育だより 9月

都賀の食育

じゃがいもの収穫体験

平成26年
栃木市都賀学校給食センター



6月に、都賀町の三つの小学校の二年生が、生活科の学習で、給食に使うじゃがいもの収穫体験をしました。

日頃、給食でお世話になっている農家におじゃまし、JAしもつけと都賀総合支所産業振興課の皆さまのご協力のもと、収穫体験をさせていただきました。

じゃがいもの茎を引っ張ると、土の中からたくさんのじゃがいもが顔を出す様子に、子たちから歓声が上がっていました。また、生産者の方から野菜を作る苦労や喜びなどのお話を聞くことができ、子どもたちにとって貴重な経験の場となりました。地元でとれた新鮮でおいしい野菜を、毎日の給食に使えることに、感謝の気持ちでいっぱいになったようです。たくさん収穫したじゃがいものかごを前に、子どもたちの笑顔があふれました。



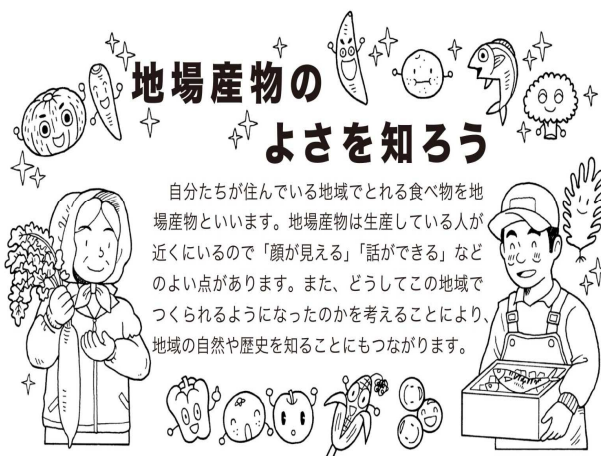
家中小学校



合戦場小学校



赤津小学校



交流給食の様子



やさいの先生に、
やさいについて
いろいろ教えて
いただきました。

じゃがいもは、
なすやトマト
ときょうだい
なんだって！



収穫体験でお世話になった生産者の方を招き、交流給食をしました。子どもたちが収穫したじゃがいもを使った給食と一緒に味わいました。生産者の方へ子どもたちから手紙を送り、野菜づくりの話をしながら、楽しいひと時を過ごしました。



〈 十五夜 〉

今年の十五夜は、9月8日です。

夜空を見上げ、中秋の名月をながめてみましょう。
十五夜には、月見団子やけんちん汁、柿や栗など、秋のものをお供えし、ススキを飾ってその年の豊作を祝う「月見」という行事が日本にはあります。給食では、さんまのかば焼き、けんちん汁、十五夜デザート、十五夜メニューです。

秋の味覚を、感謝していただきましょう。



お月見

旧暦の8月15日を十五夜といって、昔から月を見る風習がありました。この日はすすきや月見だんご、さといもなどを供えます。また旧暦の9月13日を十三夜といっておなじようにお供えものをして、月をながめます。